

令和元年度 稲沢市地域自立支援協議会 第2回本会議 議事要旨

[日 時] 令和2年3月24日(火) 午後2時～午後3時30分

[場 所] 稲沢市役所 本庁舎 2階 政策審議室

[出席者] 本会議委員8人、事務局5人

[欠席者] 本会議委員1人

[議 事]

1 協議事項

(1)運営会議等の活動状況について 資料1に基づき説明

(2)分野別部会の実施状況について 資料2に基づき説明

(3)事業所連絡会の実施状況について 資料3に基づき説明

○主な質問・意見

<委 員>医療的ケア児支援について、前年度に三宅先生をお呼びして、当事者の方も参加して頂いて、意見交換をしたり、皆さんに周知したりする機会があった。皆さんの意見を集約し、形にしていこうという会があることは待ち望んだことだと思うが、例えば来年度に向けて、家族の方も入りながら、語りながら1年間を過ごすということか。現在、実際に該当者がいるか分からないが、そんなに待ってられない感じもする。この問題は、色々な関係機関が集まらないと出来ないと思うが、もう少し動けないものかなと思う。コーディネーターの方が繋いで頂けると思うが、形が出来ることを期待したい。

<部会長>核となるのはコーディネーターで、普段から相談業務をしている相談支援専門員が、今後は研修対象になると聞いている。その仕組みや活動、周知も並行しながら進めないといけない。学校や保育園に通う事についても課題になっていて、引き続き協議していくが、急に解決の糸口にはならない。コーディネーターの具体的活動に結び付けたい。当事者の声から課題を探していく。

<委 員>色々な機関が関わってくるし、医療的ケアも様々なので大変だと思うが、期待するところなので、お願いしたい。

<委 員>こども部会は、これから始まっていくということだが、子どもに関わる部署は沢山あり、福祉の分野で、この自立支援協議会においてはどんな位置づけになるのか。例えば子育て支援課にも障害の話はあるし、他のところにもある。今聞いたのは、放課後デイのこと、サポートブックのこと、不登校は教育の分野でも協議している。他部署と連携しながら、ということか。そこも何かぼんやりしていて分からない。一宮市はどんなことをしているか。

<部会長>一宮市では部会に20名が参加していて、毎月開催し、活発である。設置にも経緯があって、当初は発達支援部会であったものが、平成31年からこども部会になった。今は、先ほどの3つの課題が話し合われている。放課後デイ

は数が多いので、底上げのための勉強会などしていると聞いている。稲沢市でも課題を見つけながら進めたいと思っている。

<委員>また、稲沢市としてどうしていくか、教えて頂けると良い。

<委員>就労支援部会の企業見学会について、毎年、工夫されて続けてみえ、一人でも多くの方に知っていただくことが大事な事業だと思う。毎年続けていて結果を求めるのは申し訳ないが、雇用に繋がったというか、結果について把握されているのか、もしあれば教えてほしい。

<部会長>参加された方のその後については調査をしていないので、それも一つの課題だと思う。

<委員>来年度は障害福祉計画、障害児福祉計画を策定する年になるので、この協議会からそれぞれの意見集約をしてほしい。

協議会は、ニーズからスタートすることが大事だと思う。例えば地域生活支援部会の医療的ケア児支援の問題は、まだ出会っていない医療的ケア児本人や家族の地域課題からスタートする。こども部会の話は、児童発達支援センターの設置にかかる準備の話が中心になると思う。子どもの育ちを保障する体制整備の話なのかなと思う。

ニーズで言うと、就労支援部会では、農福とか障害者雇用の話があったが、一つには障害者雇用に進むとか進まないということは、福祉サービス事業所は雇用率を達成しているか、していないか。新聞記事では、行政は知的障害や精神障害者を雇用していないところが四十数パーセントあるとあった。身近なところから調べて行くことはすぐできる。新型コロナの話でも、就労支援事業所でマスクが足りないとか、消毒液が足りないとか、協議会で情報共有ができていれば、困っている事業所を助けることができる。農福連携があまり出来ていないとのことだが、今は外国人実習生が入って来なくて、農家が困っていると聞いた。農福連携のチャンスではないかと思う。身近な話題で進めて行くのはどうかと思う。

成年後見制度の話については、今本当に国連で問題になっていて、日本の成年後見制度は、国連の権利条約では全く不適切という勧告を受けている。今年の夏までに何らかの考え方を出すといわれている内容で、内容がそぐわない。部会報告で言われたように、進めづらい問題が起きている。そういうことを稲沢市が理解した上で、きちんと成年後見センターの設置に向けた動きをしていく必要があるので、敏感になっていることは良いと思う。

協議会の部会は、市の先端で活動する専門部会なので、こうしたアンテナを張って、専門性の高い活動をニーズからスタートしてほしい。個人や事業所のニーズからきちんとスタートし、その中でやるべきことを進めてほしい。内容は細かい所まで入っていて良いと思うので、是非進めてほしい。

<委員>災害時の対応については、どのような議論をしているか、どの災害を想定しているか。

<事務局>相談支援事業所連絡会の 2 回目で議題とした。経緯としては相談支援専門員から、障害のある方が災害時に避難できる場所はあるか、きちんと避難所で過ごせるかといった話があり、担当課の方に避難所の現状を聞いた。災害時の対応は、相談支援に限った課題ではないと思うが、協議会でこのことを話し合う場がまだないのでそれが課題だと思っている。

<委員>災害に関しては障害のあるかたは諦めが多い中、とにかく自助が大事ということで、稲障連でも取り上げているが、的が絞りづらい。根気よく続けて頂ければと思う。安全に過ごせるように家具の固定などについても勉強をしているが、関心が薄いように思う。話し合いは続けて行ってほしい。